

対 象

日本国内に所在する企業や企業財団、またそれらの連合体が、
2023年4月1日～2024年3月31日の間に実施する、メセナ（芸術文化振興による社会創造）活動

ジャンル

音楽 舞踊 映像メディア
美術 伝統芸能 ファッション
工芸 民俗芸能 ものづくり
文学 文化遺産 複合芸術
演劇 建築
映画 歴史的建造物 など

形 態

公演や展覧会、アウトリーチやワーク
ショップ等各種文化プログラムの実
施／人的・物的支援、ノウハウや場所
の提供、資金支援／人材育成や顕彰・
コンクール事業の実施／文化施設等
での企画・運営／出版物の発行 など

活 動 例

地域の文化を守り育てる活動／市民が芸術
文化を楽しむ機会の提供／芸術文化団体へ
の資金提供／芸術文化団体との協働 など

※営利を主たる目的とした活動、宗教活動や政治団体の
普及を主たる目的とした活動、一般社団法人・公益社団
法人・特定非営利活動法人の活動は対象となりません

※新型コロナウイルス感染拡大の影響がある場合も、今後継続する予定がある活動は対象となります。

審 査

3つの視点（活動の位置づけ、活動の主体性、活動の視野）を中心に、社会・地域への思いや
創意工夫を凝らした点などを含めて総合的に審査

○審査委員

萩原なつ子 | 独立行政法人国立女性教育会館 理事長／（認特）日本NPOセンター 代表理事 ※委員長

新井陽子 | 横浜みなとみらいホール 館長／東京藝術大学 客員教授

佐倉 統 | 東京大学大学院情報学環 教授／理化学研究所革新知能統合研究センター チームリーダー

中島信也 | 株式会社東北新社 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター／CM演出家

仲町啓子 | 実践女子大学 名誉教授／秋田県立近代美術館 特任館長

山口 周 | 独立研究者、著作家、パブリックスピーカー

ほか、公益社団法人企業メセナ協議会 理事長

※五十音順・敬称略、肩書は2023年3月時点

手数料

認定活動1件につき **30,000円** （企業メセナ協議会会員は無料） ※応募に手数料はかかりません

スケジュール



This is MECENAT 2022 の認定活動が、メセナアワード2023の対象となります。

受 付

This is MECENAT 専用サイト内の応募フォームにて受け付けています。

2023年3月13日（月） — 5月15日（月）24:00 まで

詳しくはウェブサイトをご覧ください ▶ <https://mecenat-mark.org/> または



公益社団法人企業メセナ協議会 This is MECENAT 担当 Tel : 03-5439-4520 E-mail : mecenat@mecenat.or.jp



公益社団法人企業メセナ協議会とは

企業による芸術文化支援（メセナ）活動の活性化を目的に 1990 年に設立された、日本で唯一のメセナ専門の中間支援機関です。企業メセナの社会的意義を発信し、文化振興の基盤を整備するために、調査研究、認定顕彰、助成、国際交流等の事業を多面的に行っています。

全国各地の企業や企業財団の皆様へ
今年度も芸術文化に
関わる活動認定の
申請受付を開始しました！



THIS IS
MECENAT
2023

| 受付期間 | 2023

3.13 mon. — **5.15** mon.

| 対象 | **全国各地の企業や企業財団が実施するメセナ活動**

※新型コロナウイルス感染拡大の影響がある場合も、今後継続する予定がある活動は対象となります ※詳細は中面をご覧ください

| 主催 | 公益社団法人 企業メセナ協議会

| 後援 | 文化庁

メセナとは、芸術文化を通じた豊かな社会づくりのための活動です。

This is MECENAT は、多彩なメセナ活動を認定し、各活動に光をあてることにより、
芸術文化による豊かな社会づくりを促進していくことを目的とした認定制度です。

公益社団法人企業メセナ協議会は、企業が行うメセナ活動を応援します。

企業が主体的に取り組むメセナ活動を募集します。

「This is MECENAT」は、企業などが取り組むメセナ（芸術文化振興による豊かな社会創造）活動を有識者の審査により認定する制度で、2014年にスタートしました。全国で多様に展開されている企業メセナを広く周知するため、「これぞメセナ」と認定された活動には、シンボルとして「メセナマーク」を発行し、This is MECENAT 専用サイトに掲載するなど活動の広報発信に協力します。「メセナの今」を多角的に発信し、これまでにのべ1,300件以上の活動を登録してきました。さらに認定された翌年には、特に優れた活動を「メセナアワード」として表彰します。ぜひご応募・ご推薦ください。

「This is MECENAT」に認定されると…

01.

メセナマークの活用

芸術文化振興による豊かな社会創造＝メセナ活動のシンボルマーク。認定活動に対して、認定年度に発行します。活動に関する広報媒体（ウェブサイト、チラシ、ポスター、プログラム）などで広くご活用いただけます。This is MECENAT 専用サイトではマークの活用例をご紹介します。また、ご希望の方には認定書を発行します。社内外の周知・発信にぜひご利用ください。



02.

広報発信への協力

認定活動はすべて This is MECENAT 専用サイト (<https://mecenat-mark.org/>) に活動内容を掲載するほか、プレスリリースの配信やSNS、外部ライターによる取材記事執筆などの広報協力をします。This is MECENAT の認定結果やメセナアワード贈呈式などの記事は、全国紙、地方紙などに掲載されています。

■ 掲載地方紙
十勝毎日新聞、秋田魁新報、信濃毎日新聞、福島民友新聞、新潟日報、山梨日日新聞、下野新聞、伊豆新聞、熱海新聞、大阪日日新聞、四国新聞、高知新聞、山陽新聞、沖縄タイムス など

03.

メセナアワード

毎年、前年度に認定された活動から特に優れた活動を選考。メセナ大賞、および優秀賞の受賞活動には、表彰状と新進アーティスト制作のトロフィーを贈呈します。[1991年創設]



認定企業の声

株式会社 JTB



▲ サステナビリティレポートにメセナマークと活動内容を掲載

JTB 旅行文化講演会

交流文化を発信する取り組みの一つとして、各界著名人に旅にまつわる話題や旅行観を語っていただく講演会を定期的に開催しています。メセナ活動認定制度にて客観的に評価いただくことにより、活動内容をブラッシュアップしていくとともに、より多くの方にご参加いただくきっかけとなっています。2023年3月には創立110周年を記念し、初めて海外(ハワイ)でサステナビリティをテーマに開催します。

株式会社チャーム・ケア・コーポレーション



▲ プレスリリース、展覧会チラシ、決算説明会資料にメセナマークを使用しています

若手アーティストと高齢者をつなぐ、チャーム・ケア・コーポレーションの文化支援活動「アートギャラリーホーム」

介護企業ならではの視点で若手アーティストの支援を行っています。アーティストに発表と展示の場を提供するとともに、高齢者とアーティストの橋渡しをすることによって生まれる相乗効果を活かしながら、CSR活動にもつながっています。メセナマークは、アーティスト・美術大学・協賛企業が安心して参加できる大切な要素となっています。

「This is MECENAT 2022」認定活動例

石井造園株式会社

神奈川県
SDGsオリジナル
コースターコンテスト

造園業を生業とする同社が、CSR活動のテーマ「地域」「環境」「文化」の一つとして、作業中に発生した間伐材をコースターに再利用。横浜市内の小学校6年生を対象に、SDGsの17のゴールまたは地球温暖化をテーマに、自由な画材で描いたオリジナルデザインを募集する取り組み。2021年の応募総数2,109点、参加校は60校。

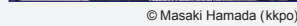
公益財団法人江副記念 リクルート財団

全国各地／海外
リクルートスカラシップ

1971年から累計で704名（2022年3月時点）の「世界に挑戦し、ずば抜けた活躍をしそうな日本の若者」に対し奨学金給付を実施。またコンサート、交流企画の運営、情報発信などを通じた奨学生の活躍支援を行ってきた。人材の育成を通して新たな価値の創造に寄与している。

NHN JAPAN 株式会社

大分県
現代美術館
『COMICO ART MUSEUM YUFUIN』



2017年同社が提唱する「豊かな社会の実現に向けた取り組み」として旧由布院美術館跡地に開館。大分県初の隈研吾建築。2022年7月には美術館を増築。草間彌生、宮島達男、杉本博司、村上隆、奈良美智、名和晃平、森万里子らの作品を長期展示。より高水準な芸術を共有できる文化の場を目指して特別な時間を提供している。

大阪ガスネットワーク株式会社

滋賀県／京都府／大阪府／兵庫県／
奈良県／和歌山県
地域の活性化をめざし、まちの魅力を
歴史・文化的側面から発掘発信する
「語りベシアター」の展開

関西圏の豊饒な歴史や文化、まちのエピソードや将来の可能性などを楽しくわかりやすく伝えるため、語りと音楽、映像をまじえた独自の手法、音楽家などクリエイターとの協働による演出により、公演活動を実施。コロナ禍対応でYouTube配信のための作品も制作し、活動の担い手養成を目的に、語りべになるためのワークショップも開催している。

公益財団法人 京都服飾文化研究財団

京都府
KCIギャラリー



同財団は1978年に(株)ワコールの出捐により設立されたファッションの研究機関で、施設内に「KCI ギャラリー」を開設。年に2～3回さまざまな切り口で収蔵品の展示と研究成果の発表を行う。京都府教育委員会より博物館相当施設として認可され、豊かな服飾文化の醸成とファッション産業の発展に貢献している。

2022年認定件数 163件

大正製薬ホールディングス 株式会社

静岡県
公益財団法人上原美術館の支援



「近代絵画」と「仏教美術」が同時に鑑賞できる美術館。専門家を招いた講演会などの教育普及活動を積極的に推進し、地域住民とも連携して調査や啓発活動など、息の長い地域貢献活動を行っている。また職場体験や博物館実習の受け入れ、オンライン授業や出前授業、先生への鑑賞教育研修や情報・資料の提供も行っている。

日本新薬株式会社

京都府
日本新薬きらきら未来 Library

物語と絵画の2部門で作品を公募し、両部門の最優秀作品をもとに2万冊の絵本を制作、全国の医療機関や公共施設などへ広く配本。Webサイトでも閲覧できる。制作した絵本や、募金を用いて購入した図鑑や児童書などの図書約1000冊を搭載した移動図書館車は、京都市内の小学校や地域イベントなどに社員ボランティアと訪問している。

一般財団法人セガサミー 文化芸術財団

神奈川県
Dance Base Yokohama

複合芸術であるダンスの発展のため、振付家やダンサーだけでなく、さまざまな異ジャンルのクリエイター、そして観客や地域の方の交流拠点として2020年にオープンしたダンスハウス。ダンスワークショップ、実験的なトライアウト公演の実施やダンスアーカイブ事業などを通して「ダンスを社会にひらく」活動を実施している。

株式会社鹿島出版会

東京都
SDレビュー2022 第40回
建築・環境・インテリアの
ドローイングと模型の入選展

1982年より応募資格を設けず、実施を前提とした設計もしくは施工中の建築・環境・インテリア作品を募集し、入選作品を発表する展覧会を開催。特に若手や東京圏以外で活躍する建築家たちの発表・交流の場となることを意図しており、過去の入選者には現在、国内外で活躍する建築家が名を連ねていることから建築家の登竜門とも言われている。

公益財団法人ソニー音楽財団／ 公益財団法人サントリー芸術財団

東京都
こども音楽フェスティバル

ソニー音楽財団とサントリー芸術財団の共同主催による、対象を子どもに特化した世界最大級のクラシック音楽祭。GWの4日間におなかの赤ちゃん、乳児、未就学児、小・中・高校生等を対象にそれぞれ趣向を凝らしたコンサートを多数開催。期間中さまざまなプログラムを全国で楽しめるようにオンラインでの無料ライブ配信も行った。

これまでの認定件数 1,326件